

平成19事業年度

決 算 報 告 書

自 平成19年 4月 1日

至 平成20年 3月31日

国立大学法人豊橋技術科学大学

平成19年度 決算報告書

国立大学法人 豊橋技術科学大学

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	4,035	4,035	0	
施設整備費補助金等	151	173	22	(注 1)
船舶建造費補助金	0	0	0	
施設整備資金貸付金償還時補助金	0	0	0	
補助金等収入	34	268	234	(注 2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	28	28	0	
自己収入	1,391	1,478	87	
授業料, 入学金及び検定料収入	1,316	1,317	1	(注 3)
附属病院収入	0	0	0	
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	75	161	86	(注 4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,432	1,471	39	(注 5)
長期借入金収入	0	0	0	
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	0	0	0	
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	161	144	17	(注 6)
計	7,232	7,597	365	
支出				
業務費	4,761	4,715	46	
教育研究経費	4,761	4,715	46	(注 7)
診療経費	0	0	0	
一般管理費	826	734	92	(注 8)
施設整備費	179	201	22	(注 9)
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	34	214	180	(注 10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,432	1,435	3	(注 11)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	0	0	0	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	7,232	7,299	67	
収入 - 支出	0	298	298	

予算と決算の差異について

- (注 1) 施設整備費補助金については、追加措置があったため予算金額に比して決算金額が22百万円多額となっています。
- (注 2) 補助金等収入については、グローバルCOE経費の新規採択があったこと等により、予算金額に比して決算金額が234百万円多額となっています。
- (注 3) 授業料、入学金及び検定料収入については、授業料収入の増加等により、予算金額に比して決算金額が1百万円多額となっています。
- (注 4) 雑収入については、主として特許出願補填経費、JICA人件費補填経費等の増により、また、補助金間接経費を産学連携等収入から雑入扱いとしたため予算金額に比して決算金額が86百万円多額となっています。
- (注 5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、共同研究・受託研究の獲得に努めたことにより、予算金額に比して決算金額が39百万円多額となっています。
- (注 6) 目的積立金取崩については、目的物が一般競争により予算額より安価で納入できたこと等により、予算金額に比して決算金額が17百万円減額となっています。
- (注 7) 教育研究経費については、教員人件費の抑制に努めたことなどにより、予算金額に比して決算金額が46百万円減額となっています。
- (注 8) 一般管理費については、施設維持費の一部等に受託研究間接経費財源充てたこと及び職員人件費の抑制に努めたこと等により、予算金額に比して決算金額が92百万円減額となっています。
- (注 9) 施設整備費については、(注1)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が22百万円多額となっています。
- (注10) 補助金等については、(注2)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が180百万円多額となっています。
- (注11) 産学連携等研究経費及び寄附金事業経費等については、受入金額の増により予算金額に比して決算金額が3百万円多額となっています。

損益計算書との集計区分の相違について

- (1) 業務費の教育研究経費には、損益計算書の教育経費、研究経費及び教育研究支援経費が含まれ、寄附金を財源とする費用は含まれていません。
- (2) 損益計算書の役員人件費は、業務費の一般管理費に含まれ、教員人件費及び職員人件費は、業務費の教育研究経費、一般管理費、産学連携等研究経費及び寄附金事業費等にそれぞれ含まれています。